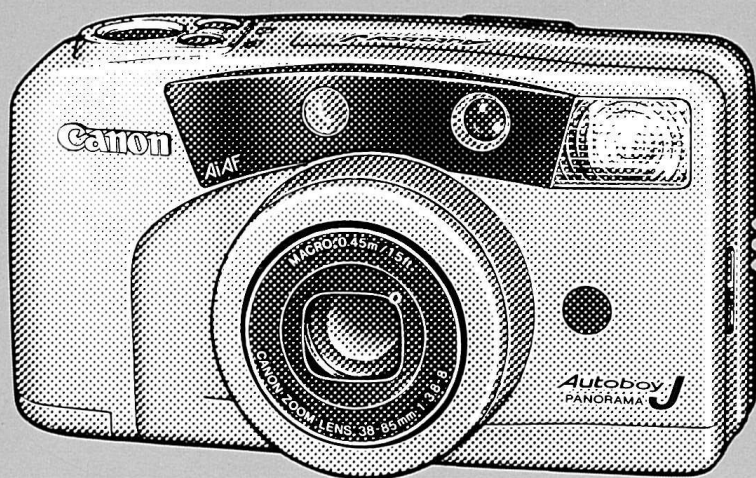


Canon Autoboy J



はじめに

基本編

応用編

資料編



日本語版



途中切り換え自在

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。

カメラをご使用の前にこの使用説明書をよくお読みになり、カメラを手に取りながら操作に慣れたうえで、正しくお使いください。

オートボーイJは、手軽に良い写真を簡単に撮ることができる全自動カメラです。*AIAF(オートフォーカス)機構が写したいものを自動的に判別してピントを合わせるので、気軽に撮影することができます。

*AI(Artificial Intelligence:人工知能)

● 特長

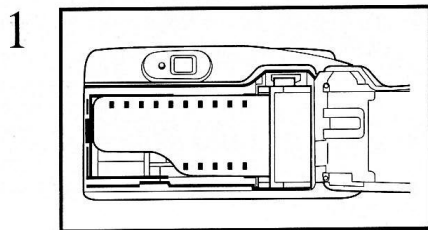
1. 高画質の電動2.2倍ズームレンズ
(38mm—85mm F3.8—8)
2. リアルタイムモードにより、ピントを合わせてからシャッターが切れるまで約0.06秒のリアルタイムリリースと、秒間最高2コマの連写機能を実現
3. フィルムの巻き上げ、巻き戻しの音が小さいサイレント給送
4. 遠距離までピントが合う高精度アクティブAIAF
5. 標準／パノラマ途中切り換え機能
6. 離れたところから撮影できるリモコン、セルフタイマー
7. 身近なものを大きく撮影できるクローズアップ撮影機能

● 本書の構成

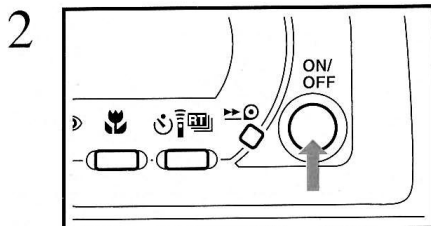
この使用説明書は基本編、応用編、資料編と段階的に分類してあります。初めてカメラをお使いになる方は始めから順にお読みください。

操作早わかり

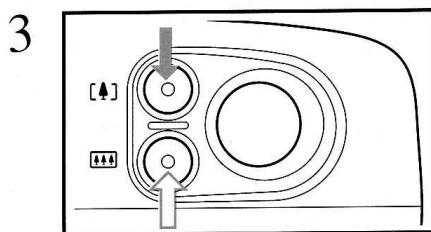
• 本文中の(→xxページ)は参照ページを示しています。



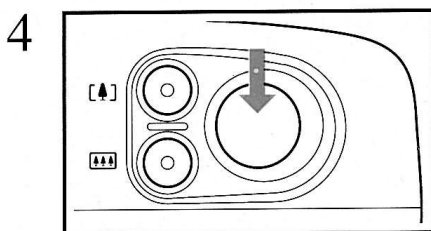
フィルムを入れます
(→12ページ)。



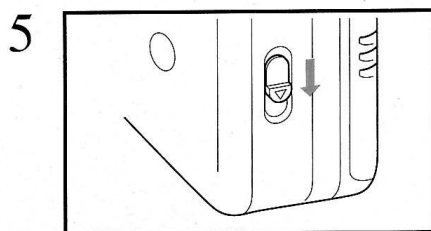
メインスイッチを押して
電源を入れます
(→8ページ)。



ズームボタンを押して、写
したいものの大きさを決
めます(→11ページ)。



構図を決め、シャッターボ
タンを押します
(→14ページ)。



フィルムの巻き戻しが終了
したらフィルムを取り出
します(→16ページ)。

目次

■ マークについて

この使用説明書は2つのマークを使って説明しています。



- このカメラを使用するときのアドバイスです。



- このカメラを使用するときにご注意して頂きたいことです。










はじめに

操作早わかり	3
目次	4
各部の名称	6

基本編

■ 電池をチェックします	8
カメラを構えます	9
シャッターボタンを押してみます	9
ファインダーをのぞきます	10
写したいものを大きく～小さくします	11
フィルムを入れます	12
撮影します(全自動撮影)	14
緑ランプについて	15
フィルムを取り出します	16
■ 電池の交換について	17

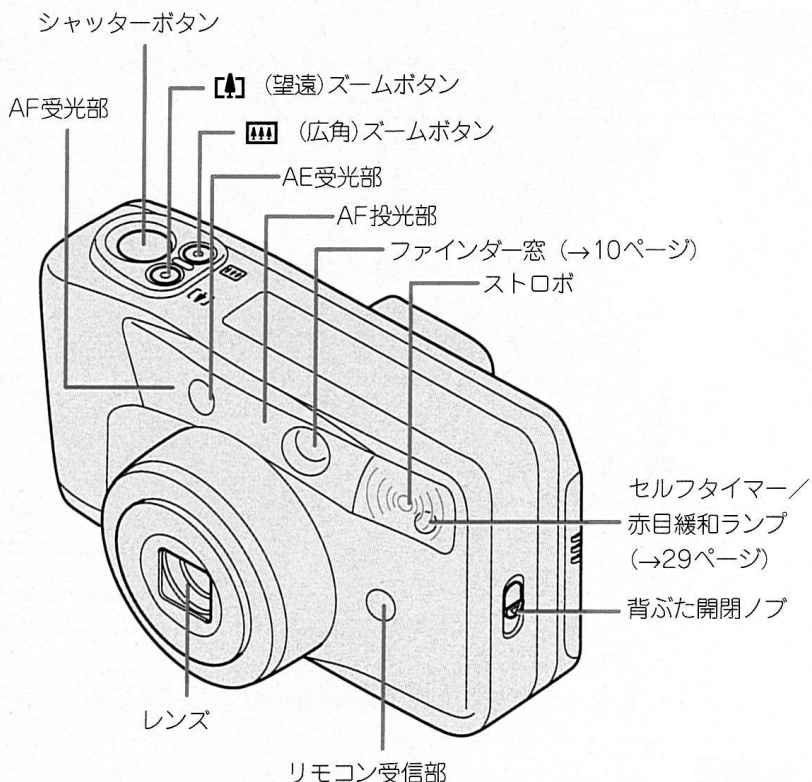
応用編

 パノラマモード撮影	18
パノラマプリントについて	19
 クローズアップ撮影	20
 セルフタイマー撮影	21
 リモコンの使い方	22
リモコンの電池交換	23
 リアルタイムモード撮影	24
ストロボ/赤目緩和モードの変更	25
 ストロボONモード	26
 ストロボOFFモード	27
 スローシンクロモード (夜景などを背景にした撮影)	28
 赤目緩和機能について	29
日付/時刻の写し込み	30
日付/時刻のセット	31
メッセージの写し込み	32
メッセージの書き換えを希望されるお客様へ	33

資料編

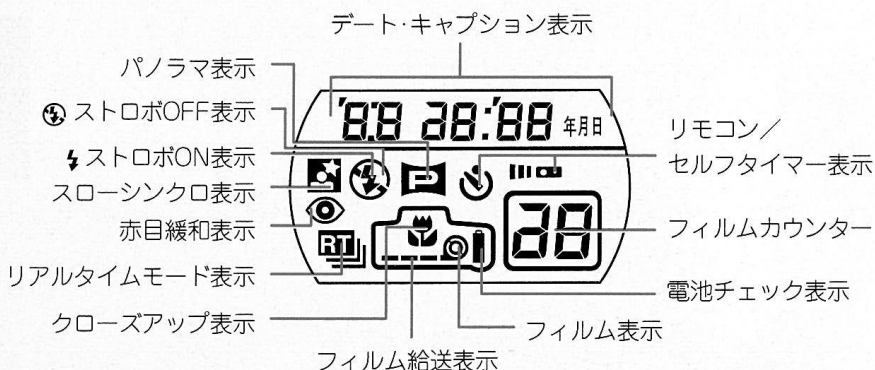
Q&A	35
こんなときは	36
取り扱い上のご注意	37
主な仕様	38

各部の名称

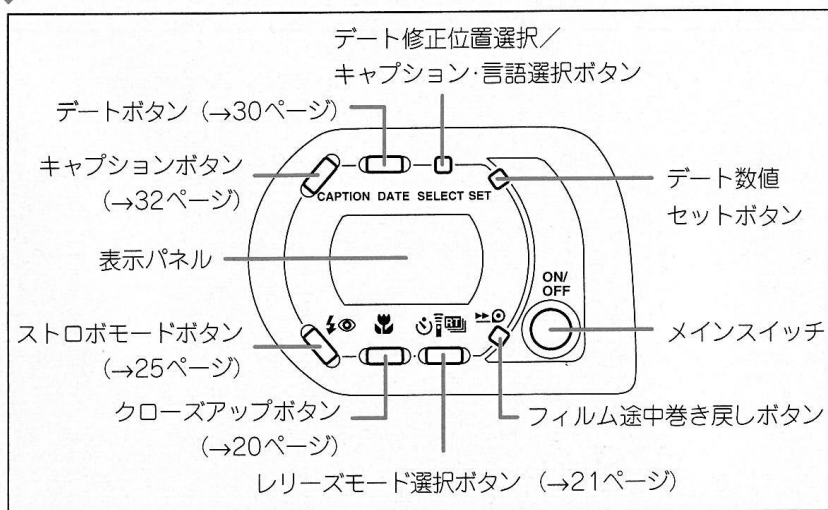
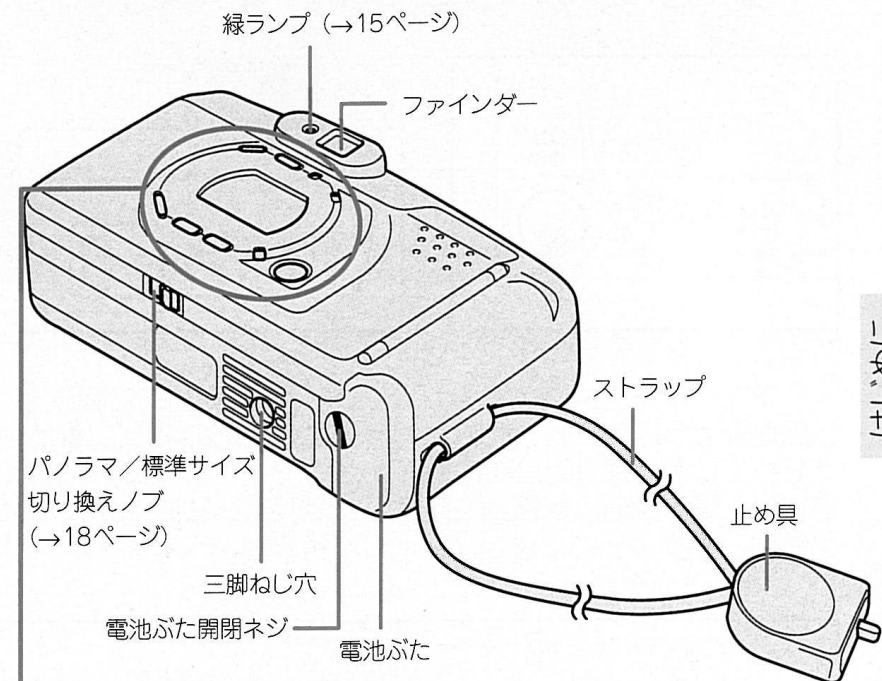


表示パネル

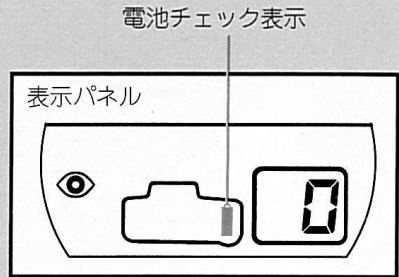
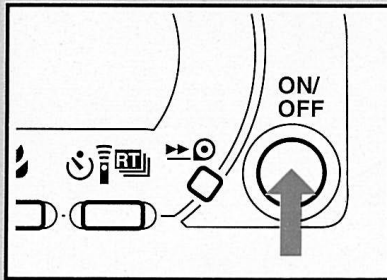
下の図は表示パネルに表示されるすべての情報を表示したのですが、通常は必要な情報だけが表示されます。




各部の名称



電池をチェックします



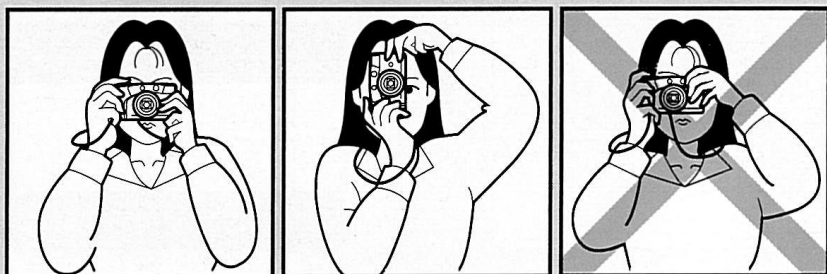
メインスイッチを押すと電源が入り、レンズが自動的に繰り出し広角38mmにセットされます。表示パネルに図のように  が点灯していれば電池はOKです。

点滅した場合は新しい電池を用意し、点灯しなくなったら新しい電池と交換してください。[電池の交換(→17ページ)。]



- 撮影前には必ず電池をチェックしてください。
- ご旅行にお出かけのときや、写真をたくさん撮られるときは、万一の時に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によって電池の入手が困難なことがあります。
- カメラを使用しないときは必ずメインスイッチを押してレンズカバーを閉じ、レンズをゴミやホコリなどから守ってください。

カメラを構えます



シャープな写真を撮るために、カメラが動かないようにしっかり構えて撮影します。

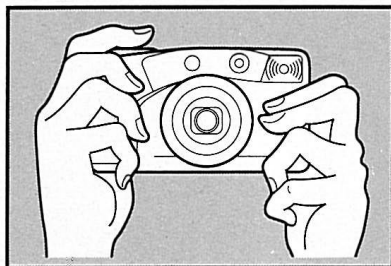
- 1 両手でカメラを持ちます。
- 2 ひじを体に軽くつけます。
- 3 カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。



- カメラを構えるときは、レンズ、AF投光部、AF受光部、AE受光部、ストロボなどに髪や指がかからないように注意してください。

シャッターボタンを押してみます

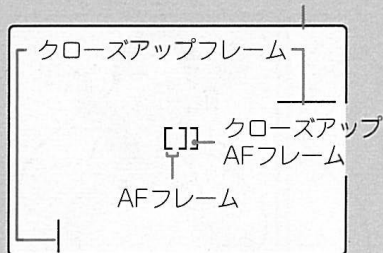
シャッターボタンは二段階になっています。軽く押すとピントが合い、さらに押すとシャッターが切れます。撮影後、フィルムは自動的に巻き上げられます。



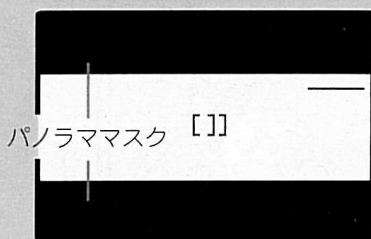
- 指をシャッターボタンから離れた状態から一気に押ししたり、あるいは指を立てて押すことは手ぶれの原因になります。シャッターボタンはゆっくり静かに押してください。

ファインダーをのぞきます

(ファインダー視野図) 撮影範囲枠



パノラマモード



撮影範囲枠

通常の撮影は、この枠内で構図をきめます。

クローズアップフレーム

撮影距離が1m以内の時の撮影範囲を示す枠です。

AFフレーム

写したいものにこのマークを合わせ、ピントを合わせます。

クローズアップAFフレーム

撮影距離が1m以内の時は写したいものにこのフレームを合わせます。

パノラママスク

パノラマ撮影で写る範囲を示すマスクです。

写したいものを大きく～小さくします



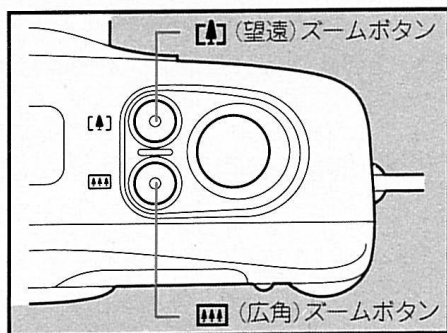
38mm ←

= = = = =

⇒85mm



[AAA] (広角)ズームボタンまたは**[A]** (望遠)ズームボタンを操作して、ファインダー内の写したいものの大きさを自由に変えることができます。



[AAA] (広角)ズームボタンを押す

レンズは38mmまでの広角になります。広角側ではより広い範囲を写すことができます。風景の撮影や人物の集合写真を撮影するときなどに使用します。

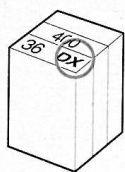
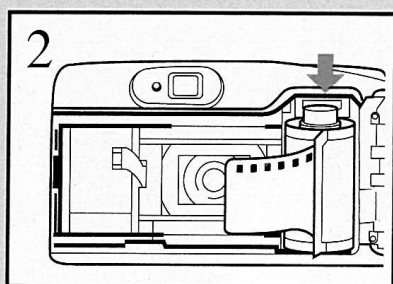
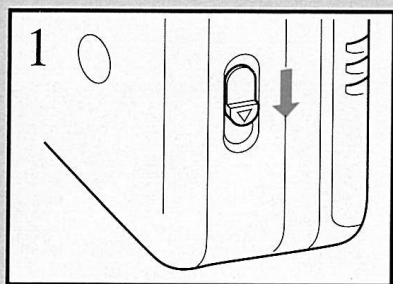
[A] (望遠)ズームボタンを押す

レンズは85mmまでの望遠になります。望遠側では写したいものをより大きく写すことができます。人物のポートレート撮影などに使用します。



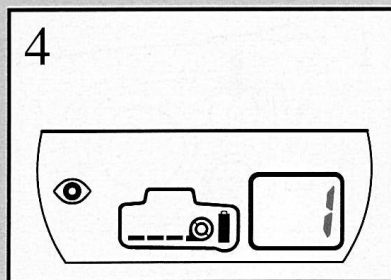
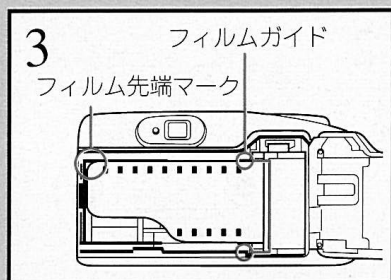
- ズームレンズ本体(鏡筒)は繰り出されたまま約4分間放置されると、レンズ保護のために自動的に収納され、広角(38mm)にセットされます。

フィルムを入れます



DXマークのついたフィルムをお使いください。カメラが自動的にフィルム感度を読み取ってセットします。

- 1 背ぶた開放ノブを矢印の方向にスライドさせて背ぶたを開きます。
- 2 フィルムを図のような向きで、フィルム室に入れます。

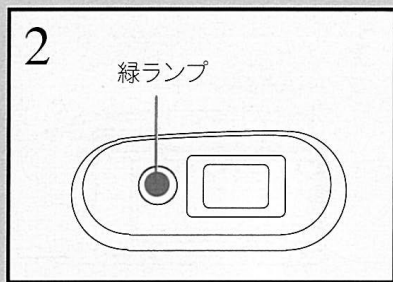
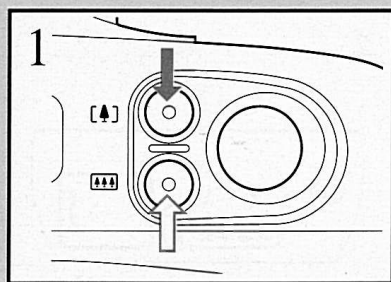


- 3 フィルム先端を、フィルム先端マークまで引き出します。フィルムガイドの間にフィルムが正しく位置していることを確認して背ぶたを閉じます。
- 4 メインスイッチを入れます。フィルムが正しくセットされると、フィルムカウンターに“1”が表示されます。フィルムカウンターに“1”が出ないときはフィルムが正しく送られていません。もう一度入れ直してください。



- フィルム感度ISO 25のフィルムは自動セットされません。フィルムをフィルム室に入れ、背ぶたを閉じてからフィルムカウンターに“1”が表示されるまでシャッターボタンを押してください。

撮影します (全自動撮影)



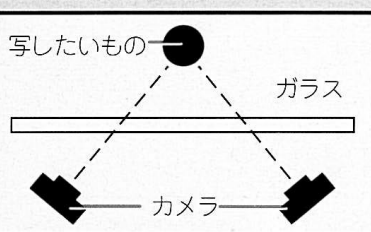
メインスイッチをONにすると全自動撮影(ストロボオート)になります。

中抜けしにくいAIAF機能ですから、中央部から写したいものがずれてもピントが合います。

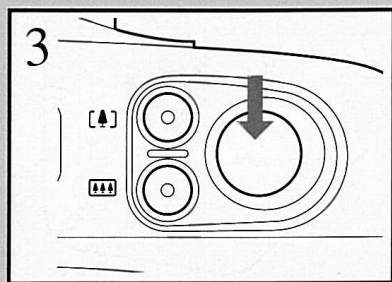
- 1 写したいものにカメラを向け、ファインダーをのぞきながらズームボタンを押して、大きさを決めます。
- 2 写したいものにAFフレームを合わせます。軽くシャッターボタンを押して緑ランプが点灯し、ピントが合ったことを確認します。
 - 0.6m以内ではピントは合いません。



- ガラス越しの撮影は、できるかぎりガラスに近づいて斜めから撮影してください。



- 緑ランプが点滅(4回/秒)した場合は、写したいものまでの距離が近すぎてピントが合いません。点滅なくなるまで離れてください。
- クローズアップ撮影では、写したいものから0.45mの近距離で撮影できます(→27ページ)。



- 3 そのままシャッターボタンから指をはなさず、静かに押し
てシャッターを切ります。
- 暗いところや逆光のときはストロボが自動的に発光し
ます(ストロボオート)。



- 赤目が出やすい暗さになると赤目緩和機能がはたらきます。赤
目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後に
シャッターが切れます(→29ページ)。
- ストロボオートで●をOFFにしたい場合は、ストロボモード変更
をして●なしストロボオートを選択してください(→25ページ)。

ストロボの届く距離

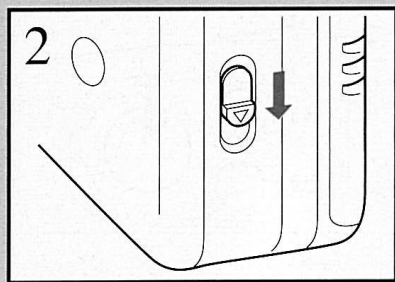
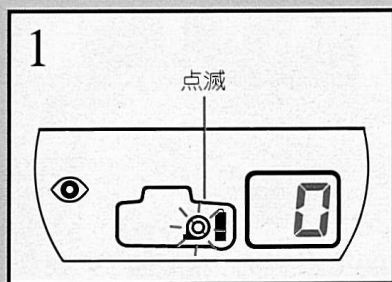
フィルム感度	38 mm (広角)	85 mm (望遠)
ISO 100	0.6~3.8 m	0.6~2.4 m
ISO 200	0.6~5.3 m	0.6~3.4 m
ISO 400	0.6~7.5 m	0.6~4.8 m


(カラープリント用フィルム使用時)

緑ランプについて

点灯	ピント合わせ完了(撮影OK)
遅い点滅(4回/秒)	近距離警告、撮影範囲外警告
速い点滅(16回/秒)	手ぶれ警告(ストロボOFF時) 赤目緩和ランプ点灯(初期約1秒間)

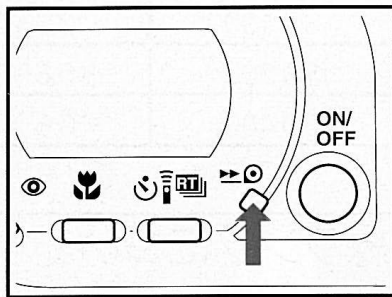
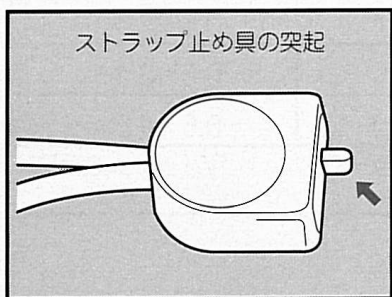
フィルムを取り出します



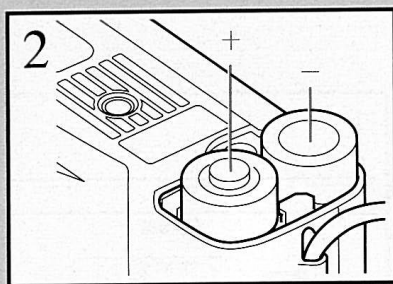
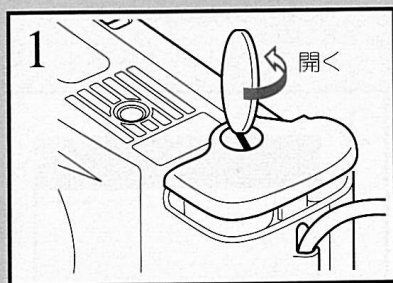
- 1 セットしたフィルムを撮り終わると自動的にフィルムを巻き戻します。巻き戻し中は、フィルムカウンターの数値が減っていきます。
- 2 フィルムカウンターが“0”になり  表示が点滅し、フィルムの巻き戻しが終了したら、背ぶた開放ノブを矢印の方向にスライドさせて背ぶたを開き、フィルムを取り出します。

フィルムの途中巻き戻し

フィルムを最後まで撮り終える前に現像に出すときは、ストラップ止め具の突起を利用してフィルム途中巻き戻しボタンを押します。

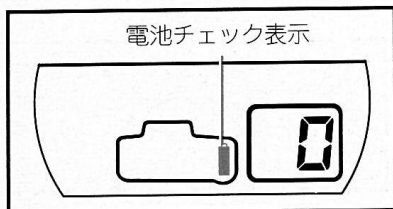


■ 電池の交換について



電源を入れて表示パネルの ■ が消えるときは、次の手順で電池を交換してください。

- 1 コインなどを使ってねじを矢印の方向に回してゆるめ、電池ふたを外します。
- 2 電池を取り出し新品の電池を+-の表示を正しく合わせ、図のような向きで入れます。
- 3 電池ふたを閉じ、ねじを回して閉めます。
表示パネルに ■ が表示されます。



[使用電池]

リチウム電池(CR123A 又はDL 123A、3V) 2個

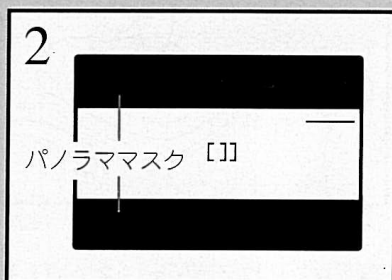
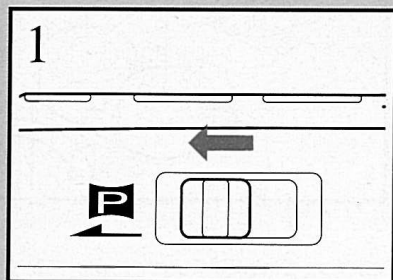
[撮影可能本数]


24枚撮りフィルム約40本(ストロポ50%使用時/当社試験条件による)



- 必ず2本同時に交換してください。
- 電池を交換すると、表示パネルの日付が「92. 1. 1.」に変わります。日付と時刻を修正してください(→31ページ)。

パノラマモード撮影



- 1 底面のパノラマ／標準サイズ切り換えノブをパノラマ側にスライドします。
 - 表示パネルに  が表示されます。
- 2 ファインダーをのぞいて構図を決め、撮影します。



● ここでいうパノラマとは、カメラ側で標準撮影の1コマ分の上下を遮断して約13 × 36mmの画像を写し込み、プリント段階で約12 × 35mmの範囲をパノラマサイズ(89 × 254mm)に引き伸ばすものです。



- 緑ランプが点滅(4回/秒)した場合は、写すものまでの距離が近すぎて実際の撮影範囲が下にずれる警告です。そのままでは写したいもの上部が撮れませんので、2m以上離れてください。
- パノラマでのクローズアップ撮影はできません。
- パノラマモードでは、日付とメッセージの写し込みはできません。

解除するとき

パノラマ／標準サイズ切り換えノブを元の位置に戻してください。ファインダー内のマスクが消え、通常の撮影に戻ります。

パノラマプリントについて



パノラマモード撮影をするとフィルム上では、図のように上下にカットされた形で撮影されます。撮影枚数は変わりません。



パノラマプリントでは、フィルムに写っていてもプリントされない部分があります。



パノラマモードで撮影したフィルムを通常のプリントにすると画面の上下に黒い帯が写し込まれます。

パノラマサイズで撮影した場合の現像・プリントは、通常の現像・プリントとは異なります。下の表に従って添付のパノラマシールを図のように貼ってください。

	フィルムの使用状況	お店への依頼方法	シール
混在	標準サイズ/パノラマサイズの切り換えを行なった	パノラマモード、標準モードの両方で撮影しました	
パノラマのみ	パノラマサイズのみ使用	パノラマモードで撮影しました	

パノラマシール
貼り付け位置



- シールがDXコード及びバーコードにかからないようにご注意ください。
- 標準サイズで撮影されたフィルムからパノラマプリントはできません。
- パノラマシールがなくなりましたら、裏表紙記載のキヤノンサービスセンター又はサービスステーションへお問い合わせください。

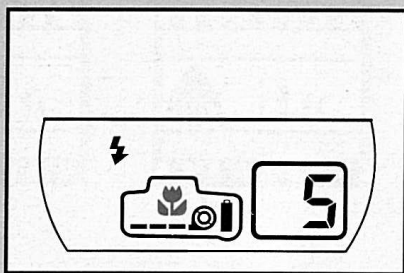
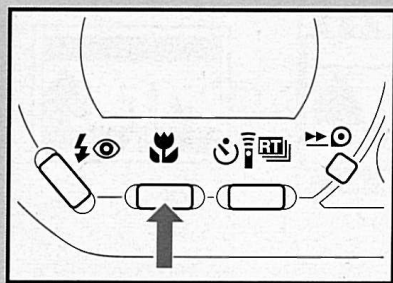


- 「パノラマ/標準混在」の現像・プリント依頼の際に同時に仕上がらない場合は、フィルムの現像のみを先に仕上げた後にプリントを依頼するなどの方法がありますので、お店にご相談ください。




- パノラマモードを使用した場合は通常の同時プリントに比べ料金、日数がかかります。

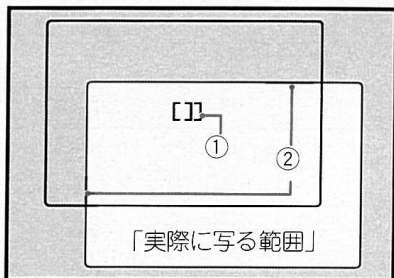
クローズアップ撮影



焦点距離が85mmに固定となり、写したいものから0.45mの近距離で撮影することができます。

1 クローズアップボタンを押し、表示パネルの  を確認します。


2 写したいものにクローズアップAFフレーム①を合わせます。軽くシャッターボタンを押し、距離を合わせます。撮影距離が合うと緑ランプが点灯します。



3 緑ランプが点灯したらクローズアップフレーム②内で構図を決め、シャッターボタンをさらに押して撮影します。

- 緑ランプが点滅してもシャッターは切れます。

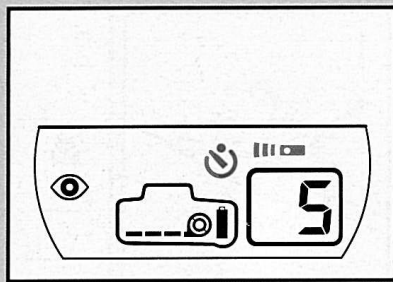
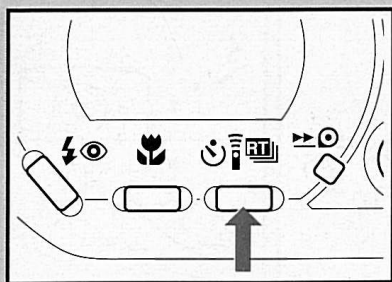


-  時は、ストロボが常に発光します。



- クローズアップ撮影では、自動的にレンズが繰り出し固定となり、ズーム操作はできません。
- クローズアップ撮影を解除するにはもう1度クローズアップボタンを押します。
- 1回撮影するとクローズアップ撮影は自動的に解除されます。
- クローズアップでパノラマモード、リアルタイムモード撮影はできません。

🕒 セルフタイマー撮影



セルフタイマーを使用すると撮影者自身も写真に入ることができます。

- 1 レリーズモード選択ボタンを押し、表示パネルの🕒 〰️を確認します。
- 2 カメラを写したいものに向けて構図を決め、シャッターボタンを押すとセルフタイマーが作動します。
 - セルフタイマー／赤目緩和ランプが点滅(1回/秒)をはじめ、約10秒後にシャッターが切れます。

セルフタイマーを途中でやめたいとき

- メインスイッチをOFFにする。
- レリーズモード選択ボタンを2度押し。

レリーズモード選択ボタンは、押すたびに次のように変わります。

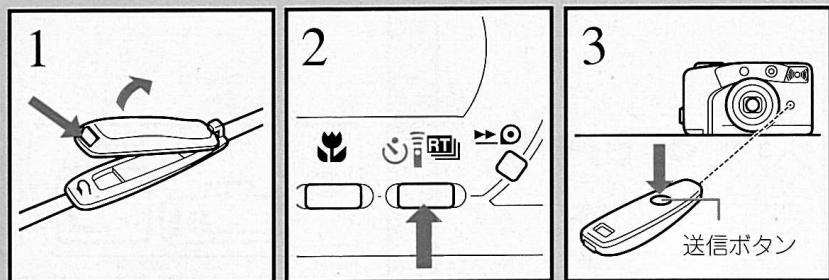


- シャッターが切れる2秒前になるとランプの点滅がさらに速く(4回/秒)なります。ただし、赤目緩和機能が作動すると、シャッターが切れる2秒前からランプが点灯します。
- セルフタイマー撮影は🕒 〰️が表示されている4分間有効です。




- カメラをしっかりとした台の上に置るか、三脚をご利用ください。
- カメラの直前に立ってレリーズモード選択ボタンを押さないでください。ピントがぼける原因となります。


リモコンの使い方



リモコンを使用するとカメラから離れて撮影できます。

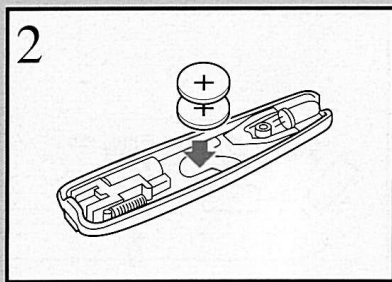
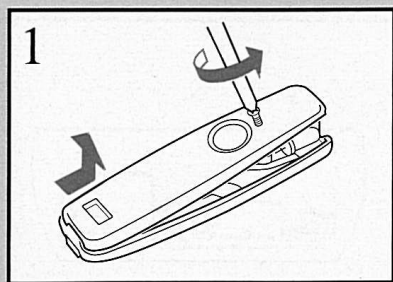
- 1 リモコン送信機をホルダーから外します。
 - 取り付けるときは、リモコン送信機の下部をリモコンホルダーのフックにかけ、上部を押しつけます。
- 2 カメラをセットし構図を決めます。
レリーズモード選択ボタンを押し、表示パネルの  を確認します。
- 3 リモコン送信機の送信部をカメラのリモコン受信部に向けて、送信ボタンを押します。
 - 送信ボタンを押すと赤目緩和ランプが点灯し、約2秒後にシャッターが切れます。



-  表示時は、シャッターボタンを軽く押すと緑ランプが点灯してピントが固定できます。
- リモコンホルダーにネックストラップを通しておくと携帯に便利です。
- リモコンモードをセットして4分以内に送信ボタンを押せば、リモコン撮影を続けて行なうことができます。



- カメラをしっかりとした台の上に置くか、三脚をご利用ください。
- リモコン撮影が可能な距離は約5m以内です。
- リモコン受信部が極端な逆光下にあたり、撮影距離が遠すぎたりすると、リモコン撮影ができないことがあります。そのようなときは、セルフタイマーを使用してください。
- リモコン受信状態時にインバーター式蛍光灯が近くにあると、蛍光灯の影響でカメラのリモコン機能が誤動作することがあります。この場合はカメラを蛍光灯から遠ざけて使用してください。



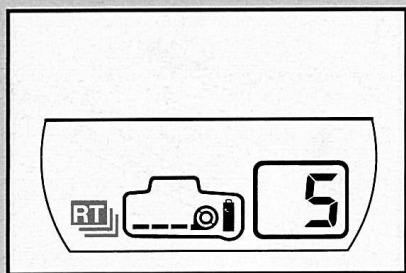
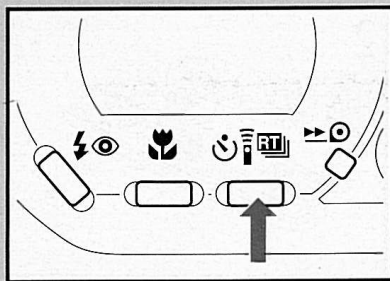
リモコンの電池交換

リモコン撮影でシャッターが切れなくなったら電池を交換してください。電池は2個とも新しいものをお使いください。

使用電池: リチウム電池CR 1220、3V、2個

- 1 送信ボタン脇にあるネジをドライバーでゆるめ、図のようにふたを外します。
- 2 電池を図のように+側が上になるように入れ、ふたをもとに戻します。

RT リアルタイムモード撮影



リアルタイムリリースによってシャッターチャンスを逃さずに写すことができます。また連続撮影機能を併用することもできます。

リアルタイムリリースとは...

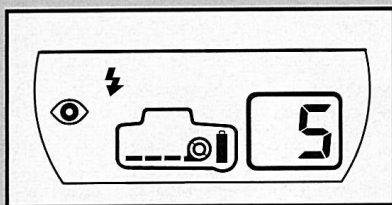
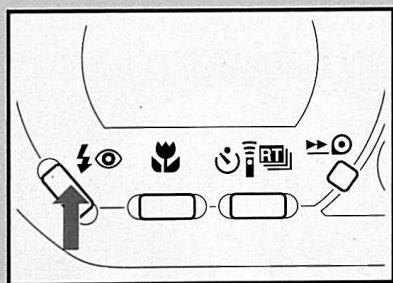
シャッターボタンを軽く押した(ピントを合わせた)状態からシャッターが切れるまでの時間が約0.06秒に短くなります。

- 1 レリーズモード選択ボタンを押し、表示パネルの **RT** を確認します。
- 2 カメラを写したいものに向けて構図を決め、シャッターボタンを軽く押します。緑ランプが点灯すれば、リアルタイムモード撮影の準備はOKです。
 - シャッターボタンを一気に押した場合は、リアルタイムリリースとなりません。
- 3 シャッターチャンスを狙って、さらにシャッターボタンを押します。
 - シャッターボタンを押し続ければ連続撮影になります(最高2コマ/秒)。





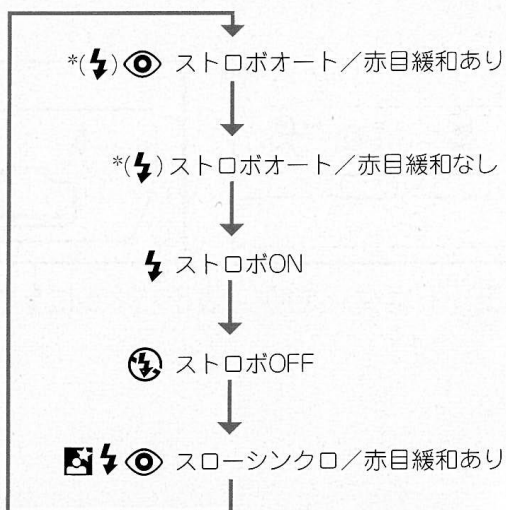
- 連続撮影のピントははじめの1コマ目と同じです。
- 中央1点測距にセットされますので、ファインダー中央のAFフレームを写したいものに合わせてください。


ストロボ／赤目緩和モードの変更







ストロボモードボタンを押すと、次の順でストロボモードが切り換わり、ストロボを常に発光させたり、ストロボの発光を止めたりすることができます。

モードの変更は表示パネルで確認できます。ストロボモードは、メインスイッチをOFFにするとストロボオート*()(あり又はなし)に戻ります。



*ストロボオートでは、ストロボが発光する時にが表示されます。

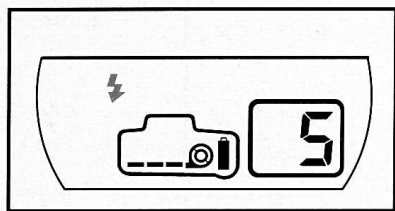
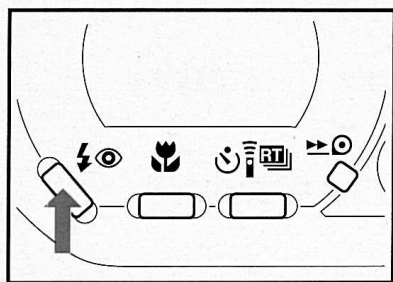


- ストロボオート*() (なし)時にメインスイッチをOFFにすると、再びONされたときにストロボオート*() (なし)に戻ります。

⚡ ストロボONモード



撮影場所の明るさに関係なくストロボが発光します。日中の逆光時等写したいものの影をやわらげるときに使用します。

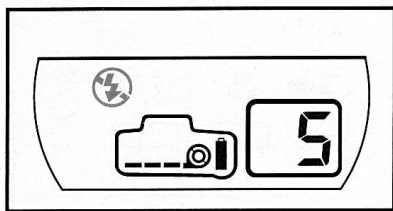
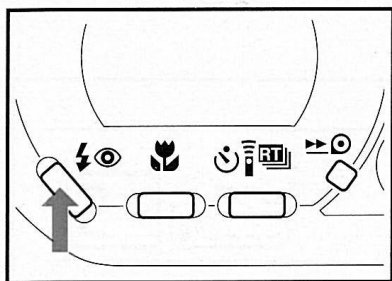


ストロボモードボタンを押し、表示パネルに⚡を表示します。

⚡ ストロボOFFモード



夜景の撮影、ストロボ使用が禁止されている場所での撮影、室内照明を利用した撮影などに使用します。



ストロボモードボタンを押し、表示パネルに⚡を表示します。

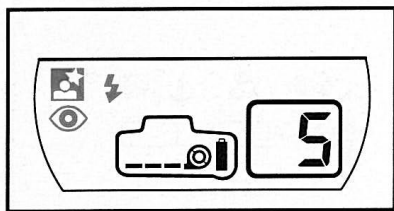
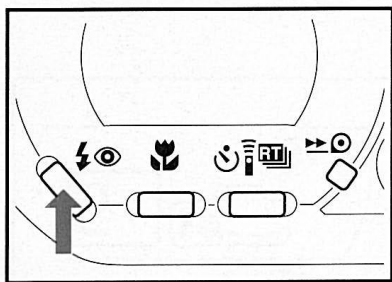


- 暗い場所でのストロボOFFによる撮影は、シャッタースピードが遅くなります。
- 手ぶれ警告で緑ランプが早く点滅(16回/秒)したときは、しっかりした台の上に置くか、三脚をご利用ください。

📷/⚡ スローシンクロモード (夜景などを背景にした撮影)



夕暮れや夜景などを背景にして人物撮影をするときに使用します。



ストロボモードボタンを押し、表示パネルに📷⚡と👁️を表示します。



- シャッタースピードが遅くなりますので、カメラをしっかりした台の上に置るか、三脚をご利用ください。
- 👁️ 赤目が出やすい暗さになると、赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターが切れます。

👁️ 赤目緩和撮影機能について



暗い場所で人物をストロボ撮影すると、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象と言います。

赤目緩和モード👁️では赤目現象の出やすい暗さになると、ストロボ発光の前に約1秒間、赤目緩和ランプが点灯して赤目現象の発生を緩和します。

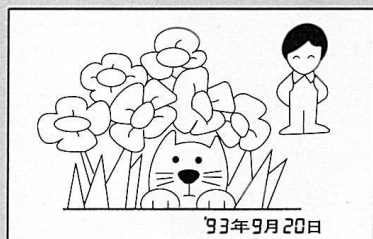


- 赤目緩和ランプが点灯すると、緑ランプが早い点滅(16回/秒)に変わります。
- 写される人が赤目緩和ランプを注視すると、赤目緩和効果が上がります。

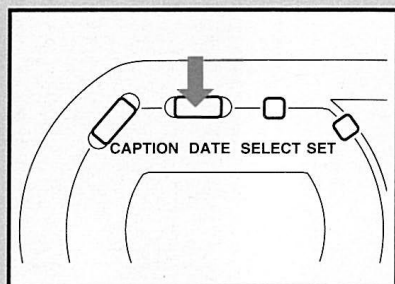


- 赤目緩和ランプが点灯するとき、効果を高めるために約1秒間シャッターは切れません。すぐ撮影したい場合はストロボモードボタンで👁️をOFFにして撮影してください(▶25ページ)。

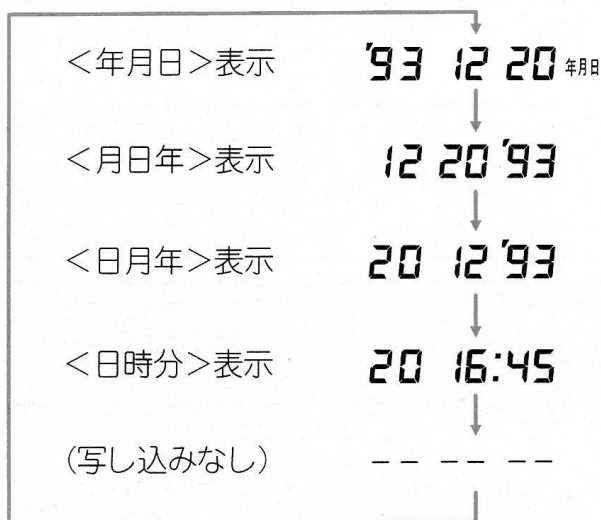
日付／時刻の写し込み



- 日付は図のように写し込まれます。

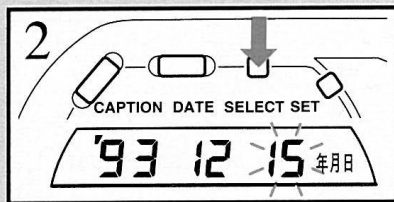
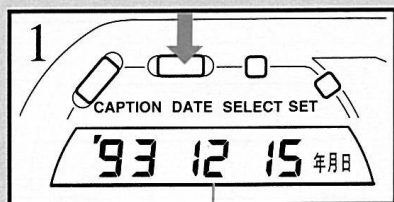


デート表示切り換えボタン (DATE) を押して、写真に写し込む日付／時刻の表示を選びます。デート表示切り換えボタンを押すたびに表示パネルは次のように変わります。

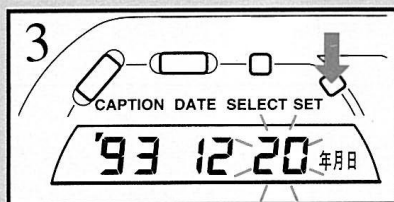


- パノラマモードでは、日付／メッセージの写し込みはできません。

日付／時刻のセット



パネル表示



2029年までのオートカレンダーが組み込まれています。撮影のたびに日付をセットする必要はありませんが、海外旅行などで日付／時刻を修正するときや電池を交換したときは次のようにセットし直します。

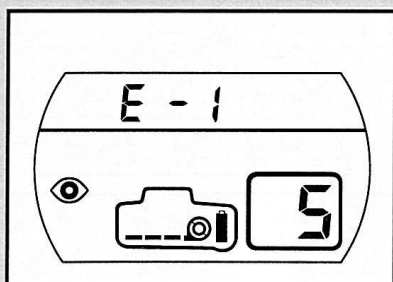
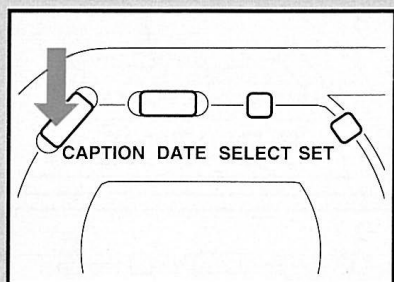
- 1 デート表示切り換えボタン(DATE)を押して、表示パネルに修正する日付(時刻)を表示します。
- 2 修正位置選択ボタン(SELECT)を押して修正する数字を点滅させます。
- 3 数値セットボタン(SET)を押して正しい数字をセットします。
- 4 すべての数字が点灯するまで、修正位置選択ボタン(SELECT)を押します。すべての数字が点灯すれば、セットは完了です。

操作の
手順



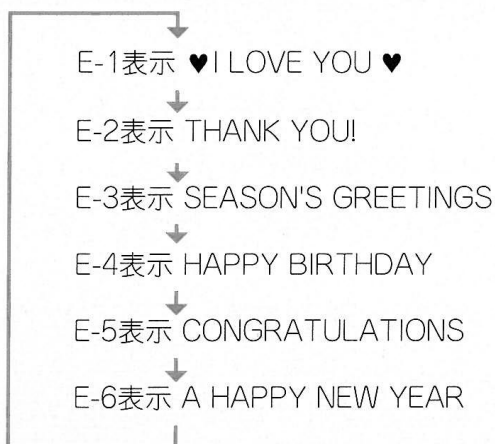
- 数値セットボタンは1回押すと1つ進み、押し続けていると連続早送りになります。
- 電池を交換すると表示パネルの日付が「'92. 1. 1」に変わります。日付と時刻を修正してください。
- ボタンを押すときはストラップ止め具の突起を利用すると便利です。

メッセージの写し込み

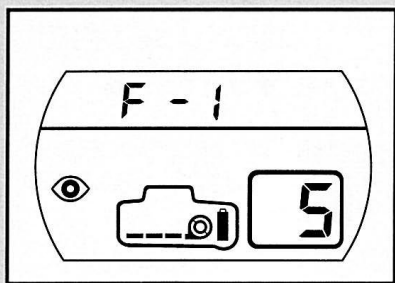
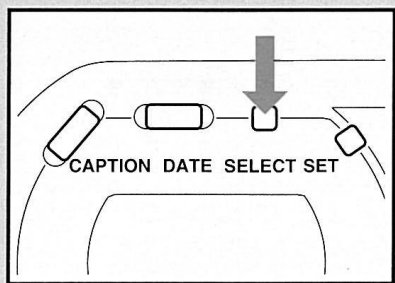


デート以外にメッセージを写し込むことができます。メッセージ切り換えボタン(CAPTION)を押して、写し込むメッセージを選びます。

メッセージ切り換えボタン(CAPTION)を押すたびに表示パネルは下のように入ります。



- メッセージの写し込みは1枚撮影するごとに日付/時刻の写し込みに切り換わります(リアルタイムモードでは連続撮影終了後)。
- DXマークのついたフィルムでも、それぞれ12枚、20枚、24枚、36枚撮りのフィルムをお使いください。それ以外の撮影枚数のフィルムでは、フィルムの最後の1枚分のデート、キャプションの写し込み撮影ができなくなることがあります。
- メッセージをOFFにするときはDATEボタンを押してください。



修正位置選択(SELECT)ボタンを押すと各メッセージの表示を英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語の順番で変更することができます。

E-1 英語 → F-1 フランス語 → D-1 ドイツ語 → ES-1 スペイン語

----- 切り離してお使いください -----

メッセージの書き換えを希望されるお客様へ

カメラを最寄りのキヤノンサービスセンターにお持ちいただければ、英語の「E-6 A HAPPY NEW YEAR」のメッセージを62文字の中から任意の16文字(ご自分の名前など)で書き換えることができます(有料)。

ご希望のお客様はこの用紙の裏に書き換えの内容を書き込んでカメラと一緒にキヤノンサービスセンターにお持ちいただくか、お送りください。書き換えにかかる費用及び期間はサービスセンターにお問い合わせください。

書き換えに使用できる文字は次の62文字です。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W

X Y Z _ (スペース) ' ! :

年 月 日 ♥ ' S Ñ

Ä-Ë Ç Ä Ö Ü T U ♪♪♪♪ c β.(ピリオド)

・「♥」と「'S」は2文字分必要となります。

フランス語のメッセージ内容

- F-1 表示 ♥ JE T'AIME ♥
 F-2 表示 MERCI!
 F-3 表示 MEILLEURS VOEUX
 F-4 表示 BON ANNIVERSAIRE
 F-5 表示 BRAVO!
 (F-6 表示 A HAPPY NEW YEAR)

スペイン語のメッセージ内容

- ES-1 表示 ♥ TE ♥ AMO ♥
 ES-2 表示 MUCHAS GRACIAS!
 ES-3 表示 FELIZ NAVIDAD
 ES-4 表示 FELIZ CUMPLEAÑOS
 ES-5 表示 FELICIDADES
 (ES-6 表示 A HAPPY NEW YEAR)

ドイツ語のメッセージ内容

- D-1 表示 ICH LIEBE DICH ♥
 D-2 表示 DANKE SCHÖN
 D-3 表示 EIN FROHES FEST
 D-4 表示 ALLES GUTE!
 D-5 表示 VIELE GRÜBE
 (D-6 表示 A HAPPY NEW YEAR)

- 各言語の6番目のメッセージは英語と同じ文字が表示されます。

次のまですに文字を記入してください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

- 1~5のメッセージを書き換えることはできません。
- 16文字を超えて書き換えることはできません。

フリガナ	性別 1. 男 2. 女	1. 未婚 2. 既婚	年齢 歳
お名前			
ご住所(〒 —)			
TEL (— —)			

Q.1 リバーサルフィルムは使えますか？

A.1 はい、使うことができます。ただし、DXマーク付きのフィルム ISO 25、50、100、200、400、800、1600、3200のものを使用してください。

Q.2 フィルム感度(ISO)とは何ですか？

A.2 フィルムが光を感じる度合を数字で表したもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。通常の撮影ではISO 200やISO 400のフィルムをお勧めします。

Q.3 DXマークのないフィルムは使えますか？

A.3 はい、使うことができます。ただし、フィルム感度ISO 25及びDXマークのついていないフィルムは自動セットされません。フィルム室に入れ背ぶたを閉じフィルムカウンターに“1”が表示されるまでシャッターボタンを押してください。DXコードのついていないフィルムを入れた場合は全てISO 25にセットされます。

Q.4 写真に写し込まれた日付が読みにくいのですが？

A.4 写し込み位置の背景が明るいからです。暗いものがくるようにしてください。また、オレンジ色系のものや白いものが写し込み位置にこないようにしてください。

Q.5 リモコンの電池の寿命はどのくらいですか？

A.5 約6000回送信することができます。

Q.6 撮影しているレンズの焦点距離を知りたいのですが？

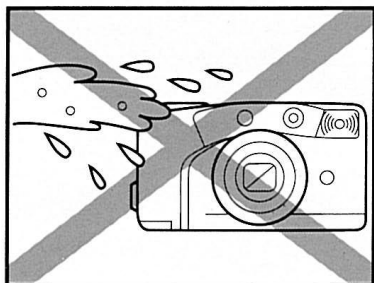
A.6 レンズの本体(鏡筒)に38、70、85mmの表示があります。

こんなときは

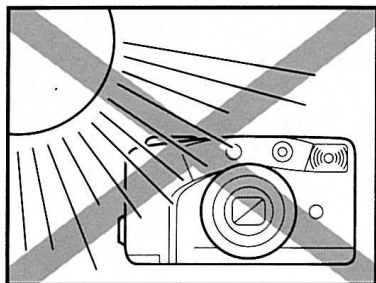
故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度次の表でその部分を確認してください。次の表にしたがってチェックしても、症状に変化がなければ修理にお出してください。

症状	原因	解決方法	参考頁
1. 電池チェックマークが表示されない	① 電池が消耗している	① 電池を交換する	17
	② 電池が逆向きにはいつている	② 電池を正しく入れ直す	17
2. シャッターが切れない	① メインスイッチがOFFになっている	① メインスイッチをONにする	8
	② 電池が消耗している	② 電池を交換する	17
	③ フィルムが正しくセットされていない	③ フィルムを正しく入れ直す	12
	④ 巻き戻されたフィルムがカメラに入っている	④ フィルムを取り出して新しいフィルムをセットする	16
3. 写真がボケて写っている	① シャッターを切るときに、AF受光部をおおっていた	① 髪や指などでAF受光部をおおわないように気をつける	9
	② セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってリリースモード選択ボタンを押した	② カメラの直前に立たないように気をつける	21
	③ シャッターボタンを押すときにカメラが動いた(手ふれ)	③ シャッターボタンを静かに押す	9
4. 表示パネルに「E」が点滅している	リセット必要時の自己診断表示	メインスイッチを押してみる (点滅が消えないときは修理にお出してください)	8

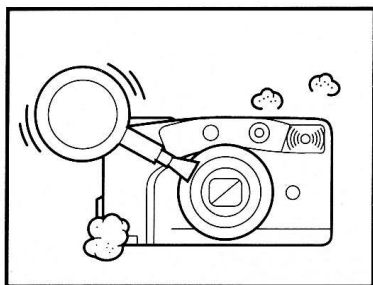
取り扱い上のご注意



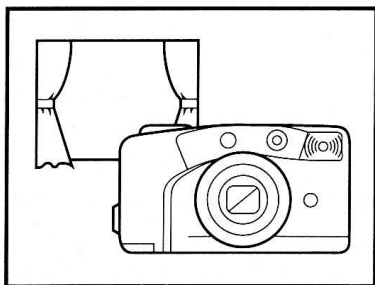
- このカメラは防水構造になっていませんので、雨天下や水中では使用できません。
万一水に濡れてしまったときは、早めに最寄りのキヤノンサービスセンターにご相談ください。また、水滴がついたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたってからは固くしぼったきれいな布でよくふきとってください。



- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。カメラの故障の原因となることがありますのでこのような中にカメラを放置しないでください。
- カメラには高電圧回路が内蔵されています。危険ですので絶対に自分で分解しないでください。



- レンズやフィルム室内にゴミがついているときは、市販のプロアーブラシで吹き飛ばすだけにしてください。カメラボディおよびレンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。特に汚れがひどいときは、最寄りのキヤノンサービスセンターにご相談ください。



- カメラを長時間使用しないときは、風通しが良く、涼しい乾燥した場所に保管してください。

主な仕様

形式:ズームレンズ内蔵35mmレンズシャッター式AF全自動カメラ

画面サイズ:24×36mm(標準サイズ) 13×36mm(パノラマサイズ)

レンズ:キヤノンレンズ 38-85mm F3.8-8

焦点調整:AIアクティブオートフォーカス

撮影距離:0.6m~∞

(クローズアップ時 0.45m、パノラマモード時 2m~∞)

シャッター形式:絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター

ファインダー:実像式ズームファインダー

倍率:広角 0.38倍 望遠 0.82倍

ファインダー情報:ファインダー内:撮影範囲枠、クローズアップフ

レーム、AFフレーム、クローズアップAFフレーム、パノラママスク

ファインダー接眼部:撮影OKランプ兼近距離警告/手ぶれ警告(緑

色LED)

フィルム装填:自動(自動空送り付き)

フィルム巻き上げ:自動、一枚撮影、連続撮影可能

フィルム巻き戻し:自動、終了後自動停止、途中巻き戻し可能

フィルムカウンター:順算式、フィルムの移動に連動フィルム空送り

不良表示あり

セルフタイマー:電子制御式、シャッターボタンにより作動、約10秒後

リリース、ボディ正面セルフタイマー/赤目緩和ランプ点滅表示、

フィルムカウンターに残り秒時カウントダウン

リモートコントロール機能:赤外光を利用した専用リモコンシステム

送信ボタンにて作動、2秒後リリース

作動距離範囲:約5m以内 電池寿命 約6000回

測光作動範囲(ISO 100):

全自動モード/ストロボONモード:

広角:1/45 F3.8~1/300 F21(EV9.5~17)

望遠:1/125 F8~1/200 F25 (EV12.7~EV17)

ストロボOFFモード/スローシンクロモード:

広角:2秒 F3.8~1/300 F21 (EV3~17)

望遠:2秒 F8~1/200 F25 (EV5~17)

露出補正:ストロボOFFモードで逆光のとき、+1.5段の自動露出補正
フィルム感度:ISO 25~3200、DXコードにより1段ごとに自動
セット

内蔵ストロボ:低輝度、逆光時自動発光式内蔵型ストロボ
ストロボ連動範囲:広角;0.6~3.8m 望遠;0.6~2.4m (カラープリント用フィルムISO 100使用時)

ストロボ充電時間:約2秒

ストロボ切り換え:ストロボモードボタンによる

- ①全自動モード:低輝度、逆光時自動発光
- ②ストロボONモード:常時発光
- ③ストロボOFFモード:発光禁止
- ④スローシンクロモード:常時発光

写し込み機能:方式;液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵
オートカレンダー(西暦2029年まで、うるう年自動修正)時計機構;
常温20℃下で月差±120秒以下

写し込みデータ;デート(4通り)、メッセージ(4ヵ国語各6通り)

文字形状;5×7のドットマトリックスによる

写し込みの色:オレンジ色

電源:リチウム電池 CR123A 又はDL123A 3V 2個

パノラマモード撮影:パノラマ/標準サイズ切り換えノブにより随時
撮影可能

撮影可能本数:24枚撮りフィルム 約40本

大きさ:128(幅)×70.2(高さ)×64.1(奥行)mm

重量:295 g (カメラ用電池別)

- ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。
- 都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保障期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために不可欠な部品)は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社 カメラ販売事業部

〒108 東京都港区三田3-12-15(東急三田ビル8F)

カメラ相談センター(製品取り扱い方法ご相談窓口)

東京・〒108 東京都港区三田3-12-15(東急三田ビル8F) ☎(03) 3455-9353

サービスセンター・サービスステーション(修理サービスご相談窓口)

札幌・〒060 札幌市北区北七条西1-1-2(SE山京ビル5F) ☎(011) 728-0665

仙台・〒980 仙台市青葉区一番町1-1-30(やまと生命ビル2F) ☎(022) 266-9851

新潟・〒950 新潟市紫竹山1-10-26 ☎(025) 246-8765

大宮・〒331 大宮市桜木町4-247(OSビル1F) ☎(048) 649-1450

千葉・〒280 千葉市中央区末広2-13-2 ☎(043) 268-5261

銀座・〒104 東京都中央区銀座5-9-9 ☎(03) 3573-7834

新宿・〒163-02 東京都新宿区西新宿2-6-1(住友三角ビル地下1F) ☎(03) 3348-4725

横浜・〒220 横浜市西区北幸2-6-26(HI横浜ビル2F) ☎(045) 312-0211

静岡・〒420 静岡市常磐町2-6-8(トーカイビル3F) ☎(054) 253-9010

名古屋・〒450 名古屋市中村区名駅3-21-7(三交ビル1F) ☎(052) 563-6822

金沢・〒921 金沢市玉鉾2-266 ☎(0762) 91-8710

京都・〒604 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町513(京都第一生命泉屋ビル) ☎(075) 255-5953

梅田・〒530 大阪市北区中崎西2-4-12(梅田センタービル) ☎(06) 373-8181

神戸・〒651 神戸市中央区雲井通り4-2-2(神戸いすゞリクルートビル8F) ☎(078) 291-0535

岡山・〒700 岡山市柳町2-6-25(朝日生命岡山柳町ビル3F) ☎(0862) 21-8678

広島・〒730 広島市中区大手町3-7-5(広島パークビル) ☎(082) 240-6712

高松・〒760 高松市紺屋町4-10(鹿島紺屋町ビル1F) ☎(0878) 23-4681

福岡・〒812 福岡市博多区美野島1-2-1(キヤノン販売福岡ビル3F) ☎(092) 411-4173

沖縄・〒900 那覇市松山1-1-19(安田生命那覇ビル8F) ☎(098) 866-7933

カメラ技術センター(修理サービスご相談窓口)

東京・〒140 東京都品川区東品川1-2-5(東信天王洲ビル5F) ☎(03) 3450-2731

大阪・〒540 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3(大阪研修センター1F) ☎(06) 941-1076

営業所

大分・〒870 大分市城崎町1-3-31(富士火災大分ビル) ☎(0975) 37-4117

休業のご案内

新宿(第3木曜日、日曜日、祝日)その他(土・日曜日、祝日)

営業時間のご案内

新宿:10:00~18:30 梅田:9:30~18:00 その他:9:00~17:30